



歴史未来館からのお知らせ

ウッドバーニングを体験しよう!

電熱ペンを使って、素材を焦がしながら絵や模様を描いていきます。ハガキサイズの板に名前や模様などを写し、電熱ペンでなぞって、オリジナルの表札やルームプレートを作ります。

日にち 9月21日(日)

時間 ①午前9時～ ②午前10時30分～
※2回とも同じものを作ります。

場所 歴史未来館 講師 和田 真弓氏
定員 各回10人(先着順・未就学児は保護者同伴)

材料費 400円 持ち物 赤のボールペン

申込方法 インターネット申込 ※9月7日(日)午前9時より申込開始
〒歴史未来館 ☎388-0161



▲申込はこちらから

歴史未来館 講座 9月21日(日)

ウッドバーニングを体験しよう!

木をこがして絵や文字をかこう。たのしいよー。

電熱ペンを使って素材を焦がしながら絵や模様を描く技法です。今回は、はがきサイズの板に好きな図案を写し、それをペンでなぞって描いてオリジナルの表札やルームプレートを作ります。

- ◆開催日: 令和7年9月21日(日)
- ◆場所: 歴史未来館1階 多目的ホール
- ◆時間: ①9:00～ ②10:30～ ※2回とも内容は同じ
- ◆講師: 和田 真弓 氏
- ◆定員: 各10名、未就学児は保護者同伴
- ◆参加費: 400円 一般の方の参加もOKです
- ◆持ち物: 赤色のボールペン
- ◆申し込み方法: 作品にしたい図案や下絵(あれば) インターネットによる申込み

▲申込はこちら ※9月7日(日)午前9時から

笠松町歴史未来館 TEL.058-388-0161

〒501-6052 岐阜県羽島郡笠松町下本町97番地 月曜休館(午前9時～午後5時)

コラム Column | 見る!知る!学ぶ!れきみ通信

現代によみがえる美濃縞～せんいの町「笠松」ふたたび～開催!!

みなさんは、美濃縞という織物をご存じですか。

美濃縞は、江戸時代中期に始まり江戸後期に最も栄えていた、この地方の代表的な産物でした。

水害に強い綿の生産は、農家の副業でした。

江戸時代中期、京都西陣から棧留縞(さんとめじま)の綿織物の技術が美濃に伝わりました。

その後菅大臣縞(かんだいじんじま)も伝わり、藍や植物染めによる手紡ぎ糸の綿布が織られました。

江戸後期には絹糸を交ぜ織りにした結城縞(ゆうきじま)が織られ、「美濃結城」と呼ばれました。

これらの総称が美濃縞です。

明治の初め頃までは、盛んでしたが、しだいに機械織りに移っていきました。

明治14年に美濃縞会社設立、明治29年

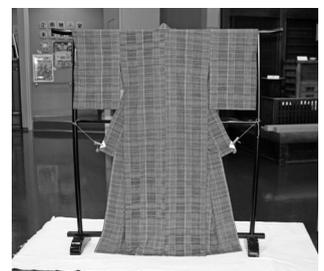
県美濃縞組合設立、大正時代には動力工業に切り替わり、毛織や化織も増えたものの、終戦後も岐阜の間屋街に笠松の商品は運ばれていました。

現代でも、手紡ぎ、手織りを伝承する方々のおかげで、美濃縞織りが、脈々と受け継がれています。

笠松を代表する織物「美濃縞」、そのやわらかな自然の美しさに浸っていただき、実際に「織りの体験」や「ワークショップ」なども体験していただければ美濃縞を身近に感じていただけることでしょう。

展示期間

9月6日(土)～
10月13日(月・祝)



従業員大募集

予 株式会社三田防災

〒501-6065 岐阜県羽島郡笠松町門間928-2
TEL 058-388-0607
☎ 0120-119-073

消 防 災

犯 消防設備・防災用品・防犯設備

つみきとえいご

認定こども園 笠松双葉幼稚園

〒501-6064 岐阜県羽島郡笠松町北及66
TEL:058-387-9155
http://www.tsumiki.ed.jp